科目名	土木・造園演習 1							年度	2025
英語科目名	Civil engineering and landscaping exercise 1								前期
学科・学年	土木・造園科 2年次	必/選	必	時間数	120	単位数	4	種別※	実習
担当教員	松浦 弦三郎	教員の実務経験		有	実務経験	険の職種	施工管理(	松浦、小山)	、施工

# 【科目の目的】

生態系や環境問題に関する理解を深め、土木・造園における環境管理と環境アセスメントの視点を身につけることを目指しま す。

#### 【科目の概要】

土木・造園の現場作業を実習を通じて体験し、将来の施工管理に役立てます。

#### 【到達目標】

土木・造園の実務に必要な知識・技術を身につける。

## 【授業の注意点】

【10米の任息点】 実習には危険を伴う作業も含まれるため、レクチャー中および実習中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。服装は作業に適したものであること(サンダル、短パン等は認めない)。ヘルメットや手袋の着用など、教員の指示に従うこと。着替えは始業前に済ませておくこと。授業時間数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。

評価基準=ルーブリック							
ルーブリック	レベル 5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル 1		
評価	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力		
到達目標 A	環境管理の実施方法を 具体的に計画し、実践 的な視点を持つ		基本的な環境問題の知 識を理解し対策を考え られる		環境問題について簡単 な知識を理解する		
到達目標 B	環境管理の実施方法を 具体的に計画し、実践 的な視点を持つ		基本的な環境管理手法 を理解できる		環境管理の基礎的な考 え方を学ぶ		
到達目標 C	環境アセスメントの各 段階を理解し、独自の 分析ができる		基本的な環境アセスメ ントの内容を理解する		簡単な環境評価ができ る		
到達目標 D	環境配慮の観点から工 事の計画・実施方法を 提案できる		工事における環境配慮 の基本的な考え方を理 解する		環境配慮の視点につい て学ぶ		
到達目標 E	環境にやさしい造園設 計の具体案を作成でき る		環境に配慮した設計の 基本を理解する		簡単な造園設計の知識 を理解する		

# 【教科書】

特になし

## 【参考資料】

# 【成績の評価方法・評価基準】

授業への取り組み、課題の到達度等を総合的に評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

	科目名	,	土木・					前期	
回数	英語表記	各授業の目的	J1V1.	I engineering and Ia 授業内容	andscaping exercise I  到達目標=修得するスキル	学期	評価方法	<b>射</b> 自己評価	
1 5 5	生態系と環境問題 の基礎	生態系と環境問題の基本を理解し、土木・造 園に与える影響を学ぶ	2	主要な環境問題とその原因	生態系の構成要素を理解する 環境問題の基礎的な原因を把握する 土木・造園分野での影響を説明できる		1	іші	
6 5 1 0	環境管理の基本概 念と手法	環境管理の基本手法と その意義を理解する	1	環境管理の目的と必要性 環境管理の基本手法	環境管理の重要性を理解する 基本的な環境管理手法を把握する 実例から環境管理の実践法を学ぶ		1		
1 1 5 1 5	実技実習	上記講義を通した実演 実習	1	各自実習	各自の目的に沿った目標を別途設定する		2		
							-		
							-		
							-		
							-		
							-		
							-		
							-		
							-		
							-		
							-		
							- - -		
							-		

評価方法:1.小テスト、3.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価:S:とてもよくできた、A:よくできた、B:できた、C:少しできなかった、D:まったくできなかった

備考 等